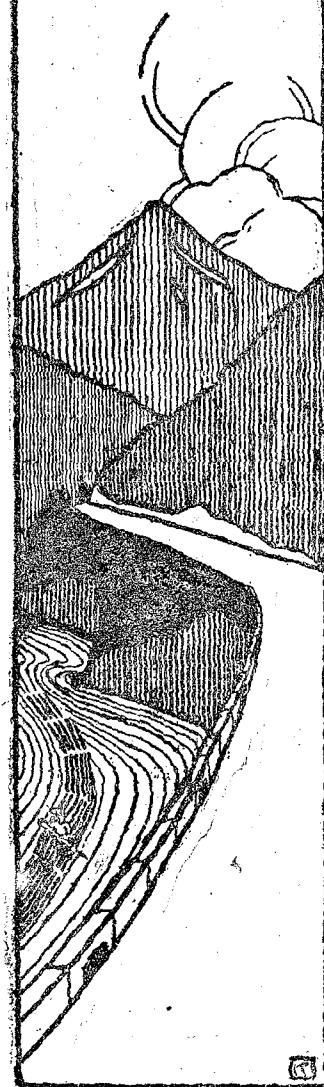


紹介

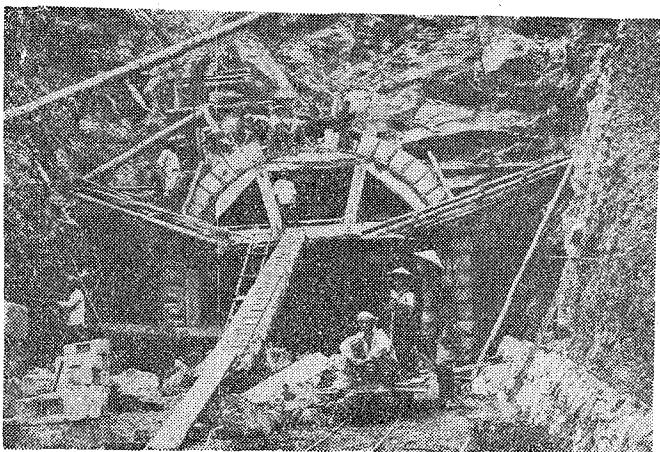


岐阜縣神原峰改築工事概要

幹事 岐阜縣技師 足立藤一

神原峰は吉城郡細江村大字太江袖川村柏原の兩村に跨り曲折急、勾配峻なる坂路にして其頂上は海拔二千八百七十八尺の高所にありて自動車の通行、長材の運搬を許さざる險路なり、之が改築路線調査は大正九年に始め以來引續き數回測量に測量を重ね比較研究し大正十一年九月最後の測量を終え改築の路線を決定し、實施設計に着手翌十二年一月六日道

計には専ら節約と堅牢を旨とし距離の短縮交通の安全と利便とに意を用ひたるものにして總延長二千二百八間三分内隧道百間にして道口に至る兩村地内道路延長は細江村に於て千七百八十三間袖川村に於て三百二十六間五分なりにして曲角半径最小を六間とし最小半徑其他急角の箇所には勾配を緩にし多くは之を二十分の一勾配とせり

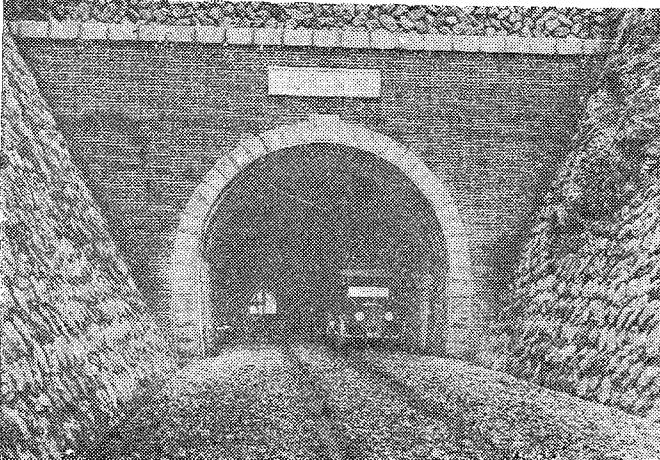


隧道工事中の情況

本工事は土地狹隘交通不便の地に於ける至難工事にして就中最も難工たる隧道開築は工事箇所の狹少なると施工後の堅牢を期したる爲め起道路幅員十五尺全所に大部分車馬待避所を設けたり。工事區間中細縦断勾配の最急は十五起點と隧道路分の路面最高點より低下したこと百十七尺三寸にして尙海拔二千七百六十尺の高地にあり隧道内の有効路幅十五尺之に幅一



尺の兩側溝を附し路面上有効高は十五尺にして其の斷面の形狀は馬蹄形をなし幅員最廣部十八尺なり其工法側壁は現場打混凝土を用ひ其上部拱部には混凝土方塊を使用したり之れ本隧道簡所は第三紀層に屬し全部割目多き岩石な



漏れば多きを期し拱部は側壁の如く現なれども郡駐在の派遣吏員全部其他本課員二名亦屢々之が工事監督の任に當れり本工事は最近縣下道路の大工事にして然の混も難工事なりしにも拘ず工事中使役職工人夫其他よりの負傷者を出したることなく隧道工事は極めて順調完全に竣工したるは請負者の周到なる注意に依るものなりと雖も亦以て天祐困難と僥倖なり。

り混

×

×

×

×

凝土方塊を使用したりしを以て工事中地下水の漏水多量なし

りにも拘らず施工を完全に遂行するを得たり道路用地及地上

路上スケッチ

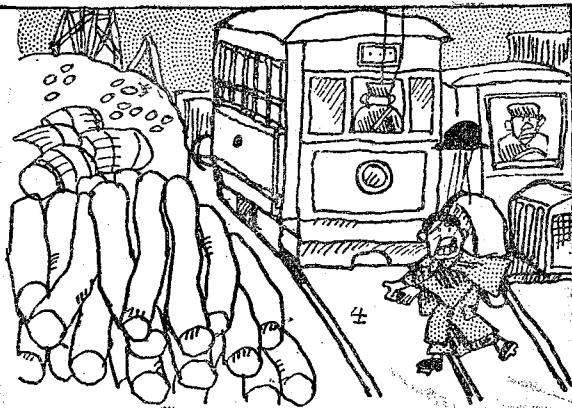
1 遠信省の穴堀工事が始まつて横丁々々が遠慮なく此横丁の中途に妻の人が豪面して行つたらいふんです



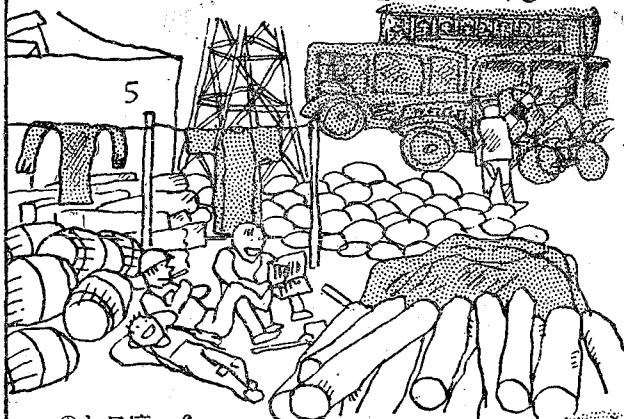
3 仕事に熱心はいいが圖の様なのも困る。偉だ
人の人間だつて居る。偉の上の神さん
も命掛けだ。全く偉へ乗つて
も氣が氣でない。

2 霜解けで材木、土砂利、鐵の棒など
の近所はお話にならない悪道
路。洋装の婦人困り果『まだく
鞋で歩く時代だわ。』

4 斯んな處もある。往來を材木の置場に電車と自動車とで三分して人間一人の歩くところもない。電車や自動車に乗れない人は材木の上を御歩きなさい。



5 人道交通査定が頻りに聲を喰して居る。其後の方に野原でもある様にて工夫がノビノビとして横たわつて居る。彼等は此ノンビリして居る。



6 坪へ『兄キまるで『喧嘩だねえ』喧嘩での生活をやつたが又斯んな處で永い間喧嘩をする男だ』。よ活をやつたが又斯んな處で二度よくよく喧嘩に御縁はない。

